



KANAIWA ONO  
ART PROJECT

# 金石スタジオ 通信

10

金石21世紀美術館が進めている金石大野芸術計画(Kanaiwa Ono Art Project)のその活動の拠点となっている金石スタジオ(金石西2丁目17-23)から、毎月みなさまに、最新情報をお届けするニュースレターです。

AIR  
アーティスト・  
イン・レジデンス

## COFFEE.oon

8月19日〜25日滞在(終了)



コンテンツポラリィダンスのパフォーマーであり、振付家の山田うん率いるダンスカンパニー「Co.山田うん」が、八月十九日から約一週間金石に滞在し、最終日の八月二十五日(火)に金沢港クルーズターミナル

にて新作のダンス公演を行いました。

今回金石に滞在して制作したダンス公演のタイトルは「みぎわ」。この「みぎわ(江、水際)」という言葉は、山田さんが金石大野地区に調査と下見を兼ねて訪れたときに陸と海、朝と夜、水面と地面、人工と自然といった様々な境界線から着想を得たものです。今回の公演は、約三十分ほどのパフォーマンスでしたが、ダンサー



たちの踊りや衣装、舞台設定のあちこちにこの境界線にまつわる表現が見受けられて、この金沢港でしか見ることのできない、とても充実した公演となりました。

金沢港クルーズターミナルは今年四月にオープンを迎えたものの、コロナの影響で海外からのクルーズ船の寄航がキャンセルになってしまいました。そのような状況下で、今回の公演はターミナルの活用例として新しい可能性を提示できたように思います。山田うんさんをはじめ、大野金石を訪れて制作活動を繰り広げるほとんどのアーティストやダンサーが都会ではできないことや、海沿いの街だからこそできる新たなチャレンジに取り組んでいく姿は、この場所で芸術活動を続けてゆく上でとても励みになります。また、今回の滞在制作では、公演とは別に早朝の金石

海岸でダンサーと共に映像を撮影したり、美術館のシアター21で地元の方と一緒にワークショップを行ったり、と多くの活動を繰り広げる濃密な一週間となりました。海岸で撮影した映像や、パフォーマンスの映像は今後、金石スタジオでの上映なども予定しています。詳細が決まりましたらこの金石スタジオ通信でもお知らせいたしますので、どうぞお楽しみに！(堀江紀子、地域コーディネーター)



### 【公演を見た方の感想】

以前から金石スタジオのイベントを撮影しています。が、金沢港クルーズターミナルで大規模なダンスパフォーマンスのイベントが

行われると知り、絶好の撮影チャンスと思い見に行きました。「みぎわ」のイメージ通り、風が吹いていて波が打ち寄せるような、それでいて時に静けさもある浜辺のようで普段見ている地元の海を上手く表現されていて、どこか懐かしさを感じられるようなパフォーマンスでした。当日は二度の公演でしたが、とても良かったのでこちらも見に行きました。このようなイベントが地元で開催されるのが、金石大野地区の地域活性化に繋がる大切な一歩だと思うので、これからも様々なイベントがまた行われるのを楽しみにしています。(吉野大地)



表面 撮影：下家康弘

